

学習交流施設 市本の廃止について

令和5年3月16日
第2回社会教育委員会議
生涯学習部 社会教育課

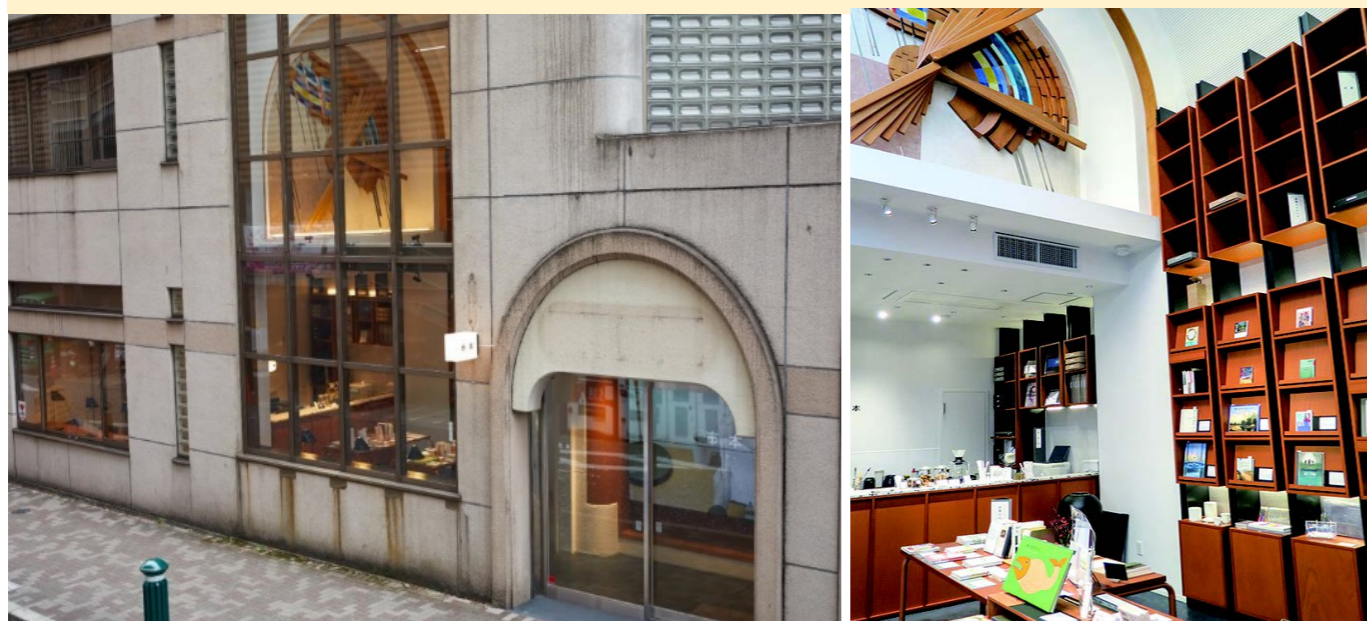
学習交流施設「市本」は、本を介した学びと交流の場を提供し、コミュニティの形成を促進することにより、市民等が学び続けられる環境の醸成を図ることを目的として令和3年11月3日に開設されました。このたび、同施設の利用状況等を勘案し、想定した政策効果を達成することは困難であると判断したことから、当該施設を令和5年3月31日をもって廃止する旨の議案を市議会2月定例会に提出したものです。

◎廃止に至るまでのスケジュール

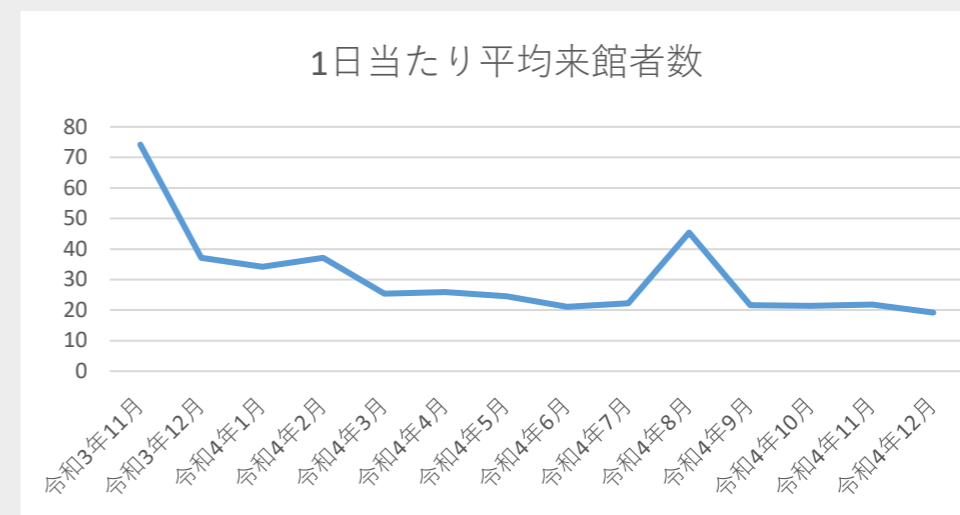
- 令和5年1月 5日 定例教育委員会において廃止方針の意思決定
- 令和5年1月 調整会議・庁議
- 令和5年2月定例会 廃止条例提出
- 令和5年4月 1日 供用終了（予定）

※運営経費について

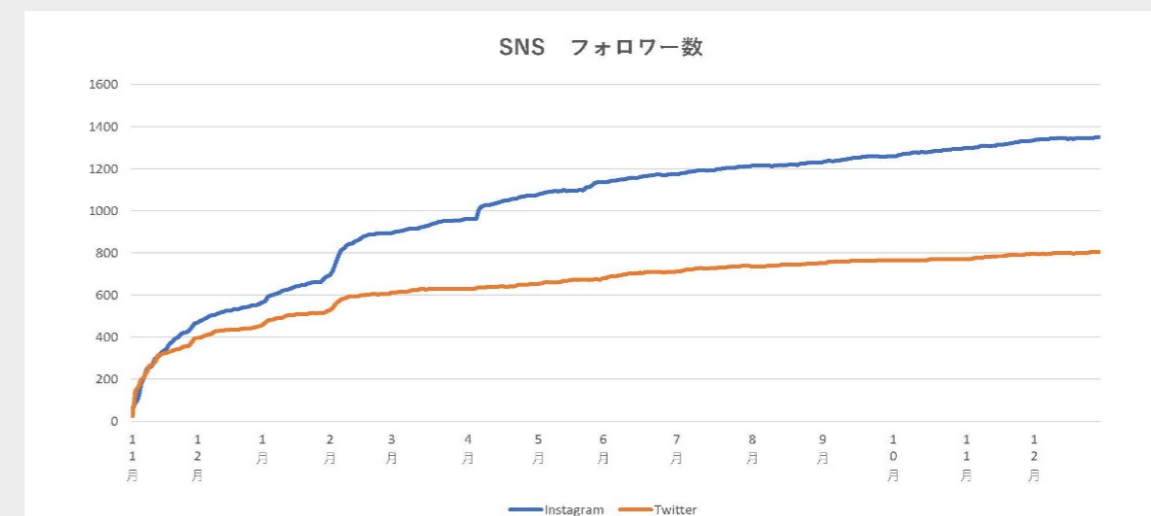
令和4年度当初予算額：31,104,000円



※「市本」の利用状況について



来館者数については、開館月の令和3年11月をピークに緩やかな減少傾向を示している。令和4年8月には児童向け絵本とのタイアップイベントを実施したことで親子連れを中心に一時的に上昇を見せたものの、その後は減少が続いている。

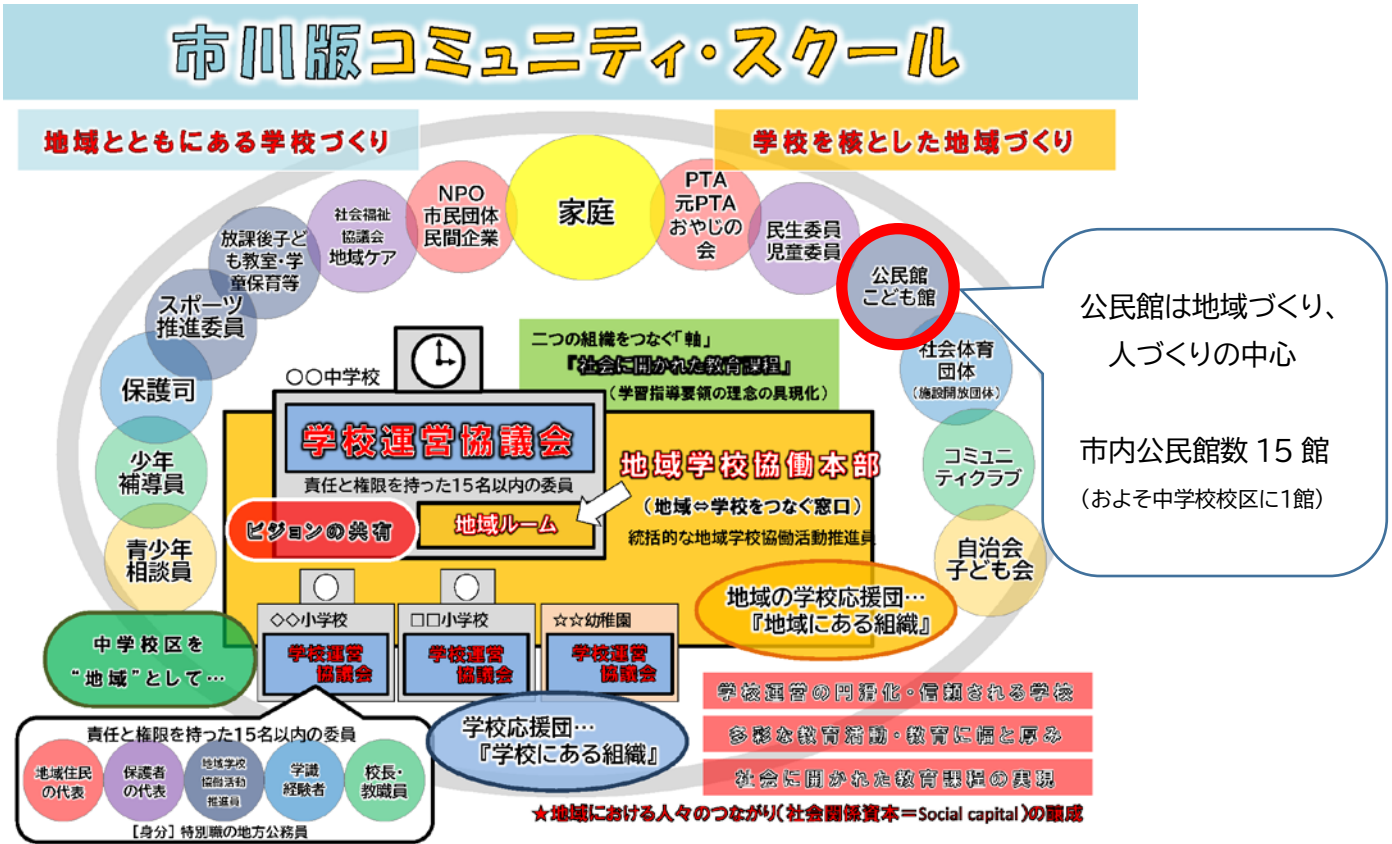


「市本」では利用対象者を社会人や大学生と想定していることから、Instagram等のSNSでの情報発信に努めている。

SNSのフォロワー数は、マスコミ等で取り上げられたときや、イベントのゲスト出演者が自身のSNS等で紹介したときは増加することもあるが、それ以外は微増にとどまっている。

「学校と社会教育施設との連携・協働について」 2023.03.16 学校地域連携推進課

市川版 コミュニティ・スクール



公民館と学校の連携

公民館は「つどう」「まなぶ」「むすぶ」機能を持った、人づくり、地域づくりを促進するための社会教育施設である。公民館には長年にわたって積み重ねられてきた生涯学習のノウハウがあり、これからは学校と公民館とが、より密接な連携を図れるように上記コミュニティ・スクールの仕組みを活用していただきたい。

- (例)○学校運営協議会委員に公民館職員が参画する
 - 地域学校協働活動推進員が公民館職員と知り合う機会を設け(研修会・顔合わせ会・相談会など)、地域のネットワーク機能を強化する
 - 学校での学びに公民館を活用する(建物・人・ノウハウ) など
- ⇒ 柏井公民館、西部公民館の先行例

今日的課題に向けて

近年、不登校支援や学習支援のニーズが高まっており、子どもたちのサードプレイスとして公民館を活用できれば、地域全体の安心感、家庭の負担感(金銭的負担、子どもの居場所確保への負担)、教員の業務改善(放課後の子どもたちの安全確保、不登校支援への人的確保)など、多くの望ましい成果が期待される。是非市川版コミュニティ・スクールの仕組みを活用しながらより良い地域、より良い市川市を作りたいと考えている。